

佐賀市総合計画審議会 意見整理表 経済・産業分科会

No	基本政策	施策	ページ	発言者	発言内容	対応方針	計画素案 [6.14時点]	計画修正案	担当課
1	4 経済・観光	働きがいのある企業を増やす	42	村井委員	「働きがいのある企業を増やす」は良いことであるが、抽象的で目標の具体化に困るのではないかと。生産性向上や高付加価値化への経営支援は、業種により違ってくるため、対象業種を設定したり、共通部門であるバックオフィス系に絞った支援などを想定したりすることが必要ではないか。また、スキルアップ・スキルチェンジやDX推進などの取組は県の支援と重複しているが、どのように整理されるのか。	事業レベルでは、具体的な目標の設定、県の取組とのすみ分けを意識して、立案にあたりたい。			経済政策課
2	4 経済・観光	働きがいのある企業を増やす	42	梅崎委員 村井委員	1—②の産学官の連携では、「民」という言葉を入れて産学官民の連携ではどうか。市民も含めて、という意味では、梅崎委員の意見に賛成		産学官の連携で促進します	産学官民の連携で促進します。	経済政策課
3	4 経済・観光	働きがいのある企業を増やす	42	梅崎委員	企業誘致に関しては、熊本県のように外から呼んでくる例もあるが、これからは企業を育てていくのが重要である。若者・女性・高齢者が創業していくことで、地元から生み出し育てていく観点も入れるべきではないか。	④は企業誘致、③は創業支援、起業家育成に関する取組方針を記載している。創業支援、起業家育成は重要と考えているため、産業支援プラザを拠点に取組を進めていきたい。	先進的なビジネスへの挑戦を生む環境整備を行います。	創業や先進的なビジネスへの挑戦を生む環境整備を行います。	経済政策課
4	4 経済・観光	働きがいのある企業を増やす	42	宮崎委員	企業誘致では進出協定を結んでいるが、私の息子も入社しており、これまで東京でしかできなかった仕事を佐賀でもできるようになったと言っている。佐賀から出たくない人を維持していくためには、今は県外や海外でしかできないような仕事ができることが重要であり、これからも取り組んでほしい。				企業立地課
5	4 経済・観光	価値のある観光体験の提供	42	古園委員	観光体験では、食も重要である。米、野菜、肉、魚、お酒など、普段からおいしいものを食べられることが観光PRのポイントとなるのではないかと。	食については、2-①「観光資源（コト、モノ）」の中に含んでいると考えている。具体的な記載については、総合戦略内で整理したい。			観光振興課
6	4 経済・観光	価値のある観光体験の提供	42	野中委員	【総合・地域分科会】 人口の自然減は全国的な問題なので、仕方がないと思う。社会減をどのように食い止めるかとなると、経済がキーとなり、近年は観光産業がトレンドとして重要視されてくる。長崎街道を集客性の高い観光地として開発するなどの具体的な取組みが計画の中に織り込まれている必要がある。	「04 経済・観光」に係る意見のため、経済・産業分科会において整理を行う。 ↓ 個別の事業については、総合戦略内で整理したい。			観光振興課

No	基本政策	施策	ページ	発言者	発言内容	対応方針	計画素案 [6.14時点]	計画修正案	担当課
7	4 経済・観光	ここにしかないモノ・コトが集まる「まちなか」への進化	42	宮崎委員	子どもが減少している中で、佐賀市の住民がマンションから戸建ての家に引っ越す傾向にあるため、コンパクトな街づくりをしようとしても、佐賀市内の人を市中心部のマンションに誘致するのは難しく、県外からの流入を目指す必要がある。しかし、佐賀市内での新しいマンション建設は少なく、人の流入は難しいのではないかと。佐賀市では、支店の集約などに伴い事業所数が減少しているが、今後住みやすく利便性が高いまちとするためにどうしていくか、考えていることがあれば教えていただきたい。	居住の促進に繋げるため、街なかに都市機能を集め、生活利便性を確保していく。			中心市街地振興室
8	4 経済・観光	ここにしかないモノ・コトが集まる「まちなか」への進化	42	宮崎委員	佐賀の魅力を高めるためには、佐賀市民だけではなく、県外、福岡・関西・関東の人が投資をしたいと思えるようにしないといけない。また、例えば病院は既に人口が確保されている場所にインフラとして建てるものであり、人を集めるために病院を建てるのではない。まずは、人をどう集めるかが重要である。	人々が集まる環境をつくることは重要である。そのうえで、市内だけでなく、市外や県外からも、まちなかへの投資を呼び込みエリアの価値を上げ、そのことで新たな投資を呼び込むという好循環を作っていきたい。委員からの指摘を踏まえて取り組み方針に加える。	まちなかで必要な機能がそれぞれつながる便利でコンパクトな「まちなか」を形成します。	まちなかで必要な機能がそれぞれつながる便利でコンパクトな「まちなか」を形成し、 新たな投資を呼び込む好循環を生み出します。	中心市街地振興室
9	4 経済・観光	ここにしかないモノ・コトが集まる「まちなか」への進化	42	古園委員	まちなかへ出るバスの路線は廃線などによって縮小している。高齢化が進み免許返納が進む一方で、運転手不足が問題とされる中で、将来的に実用化するであろう無人バスなどを考慮してはどうか。例えば駅北側からアリーナ、駅南側から博物館までを無人バスで結んではどうか。歩くと高齢者にはきつい。それが移動の軸になると、枝葉である観光地へ向かうこともできる。また、人を集めるにも軸となって、コンパクトシティを目指すまちづくりにつながるのではないかと。	「09 都市・交通」に係る意見のため、くらし・環境分科会において整理を行う。			観光振興課

No	基本政策	施策	ページ	発言者	発言内容	対応方針	計画素案 [6.14時点]	計画修正案	担当課
10	5 農林水産	感動を与え、稼ぐ農業の実現	44	宮崎委員	2040年には、少子化で人口が減って、これまでのように家族が集まって農作業をすることができなくなる恐れがある。今農業をしている高齢者が亡くなったら、農業やめざるをえない。これを相談する先を充実させ、後継者問題に手を打つことはできないか。耕作放棄地が増え、国からの交付金も減ってしまうので、今手を打つことが重要である。	農地中間管理機構を活用した規模拡大、農地の集積・集約化等による効率的な利用を促進するために、農業公社、県、市農業委員会と一体となって取組を進める。また、地区ごとに農業の歴史・形態は様々であり、そこを十分に理解して相談を受けることが重要である。そのため、農業担当者が身近に存在し、農家が気軽に相談できるように、本庁だけでなく各支所にも農政の窓口を設置し、よりきめ細やかで適切な対応ができるように努めている。			農業振興課
11	5 農林水産	感動を与え、稼ぐ農業の実現	44	伊藤委員	子どもたちが将来農業をしたいとしても、収入が高くないと就職したいと思わない。先ほど海外の例もあったが、補助金などはまだまだ少なく、国の制度に加えて佐賀市でも支援していかないと、小手先では不十分である。	農地の集積・集約化による効率化や最先端機器の導入等によるスマート農業を推進して経費削減を図ることで、利益の向上を目指す。また、農政の基本理念や政策の方向性を示す「食料・農業・農村基本法」の改正法が6月に施行され、農業の構造転換を図るための施策が、今後集中的に実施されるため、農業者が求める事業について、国・県と一体となり、それぞれの役割に応じて進めていく。			農業振興課
12	5 農林水産	感動を与え、稼ぐ農業の実現	44	杉山委員	農業の後継ぎがないのは十分な収益が得られないからで、理想があっても食べていけない、十分な時間がないとなる。農家の収入が一般の人の収入と同じ、もしくは超えるようなものとしていきたい。ヨーロッパでは農家の収入を補填する制度もあり、そこまですないと改善しない。	農地の集積・集約化による効率化や最先端機器の導入等によるスマート農業を推進して経費削減を図ることで、利益の向上を目指す。また、農業生産条件の不利な中山間地域等において、集落等を単位に、農用地を維持・管理していくための取決めを締結して農業生産活動を行う場合に、面積に応じて一定額を交付する「中山間地域等直接支払交付金」制度等、地域の実情に応じたきめ細かな支援を、国・県・市が一体となって推進していく。			農業振興課
13	5 農林水産	感動を与え、稼ぐ農業の実現	44	杉山委員	農業では、16年後にすべての農地を守ることは不可能であり、条件の良い悪いを見極める必要がある。今後厳しくなっていくため、きちんと取り組まないと、農業の担い手はいなくなってしまう。今は、農家の子どもだからこそ、大変さをわかっているため跡を継がない、新規就農者もやってみて大変さに気づくということがある。直播の話があったが、その後の管理に手間がかかり、難しい。	農村集落の維持のためには、一定の農家戸数は必要であるため、農地の集積・集約化と同時に、耕作条件が厳しい農地については、選択も考慮しながら、農業経営の効率化を図る。さらに最先端機器の導入等によるスマート農業を推進して経費削減を図ることで、多様な担い手の確保を目指す。			農業振興課
14	5 農林水産	感動を与え、稼ぐ農業の実現	44	梅崎委員	農業では、担い手不足、低収入、高コストが課題であり、集積・集約が重要と考える。また、担い手不足では、全国で人口が減る中で、人の奪い合いをしても仕方ないため、非効率な農林水産産業を効率化して、集積・集約することが一番である。そこを仲介するような、構造整理のような部分に行政の方には力を入れてほしい。	農地の集積・集約化による効率化や最先端機器の導入等によるスマート農業を推進して経費削減を図ることで、利益の向上を目指す。また、農業公社、県、市農業委員会等の関係部署と連携して事業を進める。			農業振興課
15	5 農林水産	感動を与え、稼ぐ農業の実現	44	宮崎委員	産直としての販売所が増えると小遣い稼ぎにもなるし、耕作放棄地も減らせると思う。作った農産物を直接販売するための施設を整備する際に、農業振興地域のハードルなどがあるため、行政として協力してもらえないか。そういった、アイデアへのサポートをしてほしい。	地域の農業者が設置・管理する農畜産物直売所については、農振法上の農業用施設として軽微な計画変更による手続きが可能な場合がある。農地法・都市計画法等の担当課との調整は必要となるが、農業に関わる多様な担い手を増やすこととなるため、気軽に相談できるように対応していきたい。			農業振興課

No	基本政策	施策	ページ	発言者	発言内容	対応方針	計画素案 [6.14時点]	計画修正案	担当課
16	5 農林水産	感動を与え、稼ぐ農業の実現	44	宮崎委員	以前、鍋島小学校で、大豆を生産、加工、販売までを体験した当時の生徒は今でもその時の印象が強く残っている。生産側に立つ体験だけではなく、消費者側までつながる体験を、学校教育や地域教育などで行ってはどうか。	<p>【農業】 小さい頃の体験は重要であり、生産から加工・販売までの体験事業が、事業者との連携による取組については、今後事務事業の中で協議したい。</p> <p>【林業】 「森林環境教育」には、森林・林業に関するだけでなく、自然体験や、木材を暮らしに取り入れる取組みなど、幅広く含まれている。木材の生産・流通・加工・消費の一連を体験できるような視点も取り入れていきたい。</p> <p>【水産業】 取組み方針の「佐賀海苔の美味しさを伝え、消費等の拡大を図ります。」において市内幼稚園・中学校(小学校については県が実施)への新海苔配布など実施しており、引き続き実施するとともに、新たな取組みなども検討していきたい。(現在も、漁協各支所青年部などにより学校を対象とした取組みが実施されている。また、市においても出前講座等の学校からの要請に対応している。)</p>	【1 感動を与え、稼ぐ農業の実現】 記載なし	【1 感動を与え、稼ぐ農業の実現】 ⑧ <small>小さい頃から農業に触れるなど農業の魅力を活用して、"農"のあるまちづくりを推進します。</small>	農業振興課 森林整備課 水産振興課
17	5 農林水産	感動を与え、稼ぐ農業の実現	44	木村委員	小学生の稲作体験に関わって、子供たちと楽しい体験をさせてもらったため、今後も続けてほしい。うちの家の畑が草で荒れていたが、息子が草刈りから野菜を育てて収穫するところまでやってくれて、楽しそうに生き生きとしていた。自分で作る感動を持った若い人が増えてくれればと思う。	令和5年度に農業体験を実施した市内の小学校は36校中33校となっている。そのうち稲作体験を実施した学校は19校ある。 今後も農業体験の継続に努める。	【1 感動を与え、稼ぐ農業の実現】 記載なし	【1 感動を与え、稼ぐ農業の実現】 ⑧ <small>小さい頃から農業に触れるなど農業の魅力を活用して、"農"のあるまちづくりを推進します。</small>	農業振興課
18	5 農林水産	森林を守り、育て、使う林業の発展	44	庄野委員	森林環境教育を行うとあるが、興味を持つことには小さいころに触れた経験が大きいと、良い取組と思う。教育機関等と連携して、林業以外でも取り組んでほしい。	<p>【農業】 農業に関しては、小学校での農業体験はJAや農家等の協力を得ながら実施しており、また、市事業として、有機農業実践者による親子向け農業体験イベントや農業研修など消費者交流事業を実施している。 小さい頃から農業に触れる機会があることは、農業に魅力を感じるためにも非常に大切なことと捉えていることから、意見を踏まえ、新たに項目を織り込む。</p> <p>【水産業】 意見整理表No.16の対応方針と同じ。</p>	【1 感動を与え、稼ぐ農業の実現】 記載なし	【1 感動を与え、稼ぐ農業の実現】 ⑧ <small>小さい頃から農業に触れるなど農業の魅力を活用して、"農"のあるまちづくりを推進します。</small>	農業振興課 水産振興課